対象レコード数: 263

抽出期間 2022/04/01 ~ 2023/03/31

「手術部報告」を含む

所属部門:	すべて	2022年度
職種:	すべて	期間:2022/04/01~2023/03/31
発生場所:	すべて	報告数:263件
発生場所詳細:	すべて	施設数:65施設
患者の確定:	すべて	平均実稼働病床数:627床
汚染した体液:	☐ 1 血液・血液製剤 ☐ 3 痰 ☐ 5 脳脊髄液 ☐ 7 胸水 ☐ 9 尿 ☐ 99 その他 ☒ And ☐ Or ☐ 2 吐物 ☐ 4 唾液 ☐ 6 腹水 ☐ 8 羊水 ☐ 10 体液 ☒ 指定なし	
汚染組織・状態:	☐ 1 無傷な皮膚 ☐ 3 眼 ☐ 5 口 ☒ 指定なし ☒ And ☐ Or ☐ 2 傷のある皮膚(皮膚炎・擦り傷等) ☐ 4 鼻 ☐ 99 その他	
汚染時の状況:	☐ 1 防備していない皮膚・粘膜に触れた ☐ 3 防衣又は防具を浸透して触れた ☒ 指定なし ☒ And ☐ Or ☐ 2 防衣の隙間等の皮膚に触れた ☐ 4 白衣などの衣類を浸透して触れた	
汚染時の防衣・防具:	☐ 1 手袋なし ☐ 6 側面保護眼鏡 ☐ 11 ガウン(プラスチック/ビニール) ☐ 2 一重の手袋(ゴム/ビニール) ☐ 7 フェイスシールド ☐ 14 エプロン(プラスチック/ビニール) ☒ And ☐ Or ☐ 3 二重の手袋(ゴム/ビニール) ☐ 8 手術用マスク ☐ 12 検査実/験衣(布地) ☐ 4 ゴーグル ☐ 9 眼保護付手術用マスク ☐ 5 眼鏡 ☐ 10 手術用ガウン ☐ 99 その他 ☒ 指定なし	
汚染理由:	すべて	
汚染時間:	すべて	
接触量:	すべて	
第一汚染部位:	すべて	
HBs抗体:	すべて	
緊急処置時汚染:	すべて	

注:それぞれの項目の集計において「記載なし」のデータは除いて集計してあります。(経費、日数を除く)

2. 部門

1	医師部門	97	38.0%
2	病棟部門	76	29.8%
3	外来部門	16	6.3%
4	中材・手術部門	30	11.8%
5	検査部門	12	4.7%
6	放射線部門	9	3.5%
99	その他	15	5.9%
合計		255	

3. 職種

1	医師(常勤・非常勤を含む)	60	23.3%
2	レジデント・研修医	33	12.8%
3	医学生	6	2.3%
4	看護師	117	45.5%
6	看護助手	2	0.8%
8	臨床検査技師	7	2.7%
9	放射線技師	3	1.2%
10	歯科医師	1	0.4%
11	歯科衛生士	1	0.4%
12	清掃・洗濯・廃棄等の医療関連サービス(委託業者含む)	1	0.4%
13	薬剤師	1	0.4%

14	助産師	11	4.3%
16	臨床工学技士	8	3.1%
99	その他	6	2.3%
合計		257	

医師診療科

1	内科	17	42.5%
2	外科	2	5.0%
3	麻酔科	3	7.5%
4	整形外科	2	5.0%
6	形成外科	3	7.5%
9	眼科	1	2.5%
10	皮膚科	2	5.0%
11	泌尿器科	1	2.5%
14	放射線科	1	2.5%
15	歯科・口腔外科	1	2.5%
17	腎透析部	1	2.5%
19	救急部	3	7.5%
99	その他	3	7.5%
合計		40	

レジデント・研修医診療科

1	内科	11	52.4%
6	形成外科	1	4.8%
7	小児科	1	4.8%
13	精神・神経科	2	9.5%
16	脳神経外科	1	4.8%
19	救急部	2	9.5%
99	その他	3	14.3%
合計		21	

清掃・洗濯・廃棄等の医療関連サービスの種別

2	洗浄・滅菌業務担当者(委託業者含む)	1	100.0%
合計		1	

4. 発生場所

1	病室(集中治療室を除く)	63	24.1%
2	病棟病室外	17	6.5%
3	救急部門	14	5.4%
4	集中治療部(術後回復室を含む)	20	7.7%
5	手術部	75	28.7%
6	外来診察室(処置室)	11	4.2%
7	輸血部	1	0.4%
8	採血室	2	0.8%
9	透析室	6	2.3%
10	特殊検査室(放射線・内視鏡・CT・心カテ・筋電図等の検査室)	34	13.0%
11	臨床検査部	4	1.5%
12	病理部	2	0.8%

14	分娩室	3	1.1%
17	化学療法センター	1	0.4%
99	その他	8	3.1%
合計		261	

発生場所詳細(病室)

1		4	14.3%
2		2	7.1%
3		1	3.6%
4		4	14.3%
5		2	7.1%
99	その他	15	53.6%
合計		28	

発生場所詳細(病棟病室外)

1	廊下	2	15.4%
2	ナースステーション	1	7.7%
3	処置室	3	23.1%
99	その他	7	53.8%
合計		13	

発生場所詳細(外来診療室)

8	産婦人科	1	10.0%
9	眼科	1	10.0%
10	皮膚科	1	10.0%
11	泌尿器科	2	20.0%
12	耳鼻咽喉科	1	10.0%
15	歯科・口腔外科	2	20.0%
99	その他	2	20.0%
合計		10	

発生場所詳細(病理部)

1	病理検査室	2	100.0%
合計		2	

5. 患者の確定

1	はい	250	97.7%
2	いいえ	5	2.0%
3	適切な回答なし(患者への使用前など)	1	0.4%
合計		256	

患者区分

1	入院	206	86.2%
2	救急外来	11	4.6%
3	外来(救急除く)	21	8.8%
4	不明	1	0.4%
合計		239	

確定患者の検査結果

感染症名	陽性	陰性	未検査	計
HIV抗体	3	211	24	238
HCV抗体	30	204	8	242
HBs抗原	17	216	8	241
HBe抗原	3	69	141	213
梅毒	7	176	45	228
ATLA	5	78	124	207

6. 曝露した体液

種別	血液等	吐物	痰	唾液	脳脊髄液	腹水	胸水	羊水	尿	不明	その他	計
計	180	6	11	14	1	6	5	7	13	0	39	252
	71%	2%	4%	6%	0%	2%	2%	3%	5%	—	15%	

7. 曝露組織・状態

部分	無傷な皮膚	傷のある皮膚	眼	鼻	口	その他	計
計	47	23	200	1	3	7	249
	19%	9%	80%	0%	1%	3%	

8. 曝露時の状況

区分	防備していない皮膚・粘膜に触	防衣の隙間等の皮膚に触れた	防衣又は防具を浸透して触れた	白衣などの衣類を浸透して触れ	計
計	170	74	3	6	242
	70%	31%	1%	2%	

9. 曝露時の防衣・防具

1 手袋なし	34	14%	8 手術用マスク	66	27%
2 一重のゴム手袋	157	64%	9 眼保護付手術用マスク	0	—
3 二重のゴム手袋	29	12%	10 手術用ガウン	19	8%
4 ゴーグル	31	13%	11 ガウン(プラスチック/ビニール)	14	6%
5 眼鏡	39	16%	14 エプロン(プラスチック/ビニール)	13	5%
6 側面保護眼鏡	5	2%	12 検査実験衣布地	7	3%
7 フェイスシールド	33	13%	99 その他	30	12%
			計	245	

10. 曝露理由

1	患者から直接に	78	31.5%
2	検体容器から漏れて/こぼれて	27	10.9%
4	チューブ(血液、吸引、ドレイン、その他)バッグ/ポンプ から漏れて	26	10.5%
5	破れた手袋、ガウン等をとおして	2	0.8%
6	気管/鼻腔栄養・その他のチューブが外れて、漏れて	6	2.4%
7	その他の体液容器からこぼれて/漏れて(吸引ビン等)	13	5.2%
8	血液検体に接触していた器材に触れて	11	4.4%
9	血液検体に接触していた覆布/シーツ/ガウン等に触れて	5	2.0%
10	その他、装置の誤作動や誤操作	8	3.2%
99	その他	72	29.0%
合計		248	

11. 曝露時間

1	5分未満	182	74.3%
2	5~14分間	38	15.5%
3	15分以上1時間未満	17	6.9%
4	1時間以上	8	3.3%
合計		245	

12. 曝露量

1	少量(5cc未満)	231	93.5%
2	中等量(5~50cc)	14	5.7%
3	大量(50cc以上)	2	0.8%
合計		247	

13. 曝露部位 (表示されている内訳は部位1に入力されている値で分類表示)

右手背	2	0.8%
右手掌	7	2.8%
左手掌	9	3.6%
左手背	5	2.0%
前面 右前腕	5	2.0%
前面 右顔面	125	50.2%
前面 右胸腹部	2	0.8%
前面 左顔面	86	34.5%
前面 左胸腹部	1	0.4%
前面 左下腿部	1	0.4%
前面 左上腕	2	0.8%
前面 左前腕	1	0.4%
前面 左手首	1	0.4%
後面 左頭部	1	0.4%
後面 右手首	1	0.4%
合計	249	

14. HBs抗体

1	はい(ワクチン接種により10mIU/mL以上になったことがある)	181	74.2%
2	はい(自然陽転あるいは既往疾患などにより10mIU/mL以上になったことが	7	2.9%
3	いいえ	33	13.5%

4	不明	23	9.4%
合計		244	

15. 緊急処置時曝露

1	はい	20	8.2%
2	いいえ	223	91.8%
合計		243	

受傷・曝露による損失経費

総計 158,439 円

■ 検査費用(HB、HCV、HIV、肝機能など)		
1) 該当患者に実施した検査	59,367 円	
2) 受傷者に実施した検査	99,072 円	
■ 業務中断/職場離脱		0円
小計	158,439 円	
■ 代務採用経費		0 円
合計	158,439 円	
■ 感染・発症予防措置の費用 (HB免疫グロブリン、抗HIV予防投薬など)		0 円
■ 発症後の治療費用		0 円

公労災の申請をしたもの

1	はい	26	36.6%
2	いいえ	45	63.4%
合計		71	

公労災の認定状況

1	はい	19	100.0%
合計		19	

受傷・曝露による損失勤務

病休日数	0.00 日
就業制限	0.00 日
計	0.00 日